

スポット ニュース

火災被害の 拡大防止に貢献 一中生に感謝状贈呈

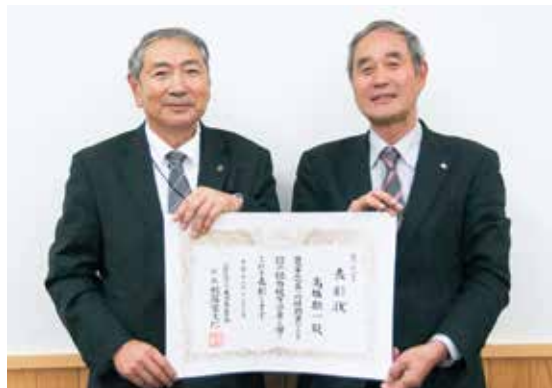


熊谷町長(中央)から感謝状を受け取った(左から)佐々木さん、平野さん、八島さん、山田さん

町は10月13日、災害現場功労者として紫波第一中学校の生徒4人に感謝状を贈呈しました。感謝状を受け取ったのは3年生の佐々木智貴さん、平野達也さん、八島紘輔さん、山田新さん。4人は9月12日、車両火災に遭遇した際、車両に乗車していた運転手に火災を伝えるとともに、車の荷台に積まれていた可燃物を火災車両から隔離し延焼を防止。併せて近隣の店舗に行き、消防署への通報を依頼しました。山田さんは「1人ではこういった行動はとれなかったと思います」と振り返り、佐々木さんは「感謝状をいただくことができてうれしいです。人を助けるような職業に就きたいと思いました」と話しました。

高橋勘一さんが農事功績表彰 緑白綬有功賞を受賞

赤石地区の高橋勘一さん(69歳)は11月17日、(公社)大日本農会が実施する平成28年度農事功績表彰の緑白綬有功賞を受賞しました。就農して以来、水稻もち栽培と牛繁殖の複合経営を行う高橋さんは、さまざまな努力によりもちの優良種子の安定生産を実現したほか、繁殖経営では1年1産に向けた飼養管理を徹底。また、JAいわて中央の水稲もち種子生産部会長を平成2年の設立当初から務め、集積された農地などでの優良種子生産に貢献した功績などが認められました。高橋さんは「このような賞を受賞することができ、感無量です。これからも部会員の皆さんと連携を密にして、もちの優良種子の生産に努めたいです」と決意を新たにしていました。



熊谷町長に受賞を報告した高橋さん(左)(11月25日)

藤井秀男さんが防犯栄誉 金章を受章



熊谷町長に「現在の楽しみは、通学する子どもたちと毎日大きな声であいさつを交わすこと」と話した藤井さん(左)

佐比内地区の藤井秀男さん(83歳)は、長年の地域安全活動をおして、安全で安心なまちづくりに貢献した功績が認められ、9月29日に警察庁長官と全国防犯協会連合会長から防犯栄誉金章を授与されました。昭和60年に佐比内地区防犯協会を発足させ、平成9年には県内初となる「学童安全連絡所(子ども110番の家)」を設置したほか、地域の歴代の駐在所と協力して防犯ポスターや作文コンクール、防犯わんぱく相撲大会などの啓発活動を実施。児童が安心して登下校できる環境整備や子どもの健全育成に貢献しています。藤井さんは、10月25日に熊谷町長を訪問し、受章を報告。報告を受けた町長は「佐比内地区で行われている盛んな防犯活動は、藤井さんのリーダーシップの賜物と敬意を表しました。藤井さんは「駐在所をはじめ、警察や地域の方々の協力があって、現在の活動につながっています」と周囲の協力を感謝していました。